

研修のご案内

地域包括ケアシステムにおける

認知症総合 アセスメント(DASC)

ベルサール神田
会議室(東京会場)

*その他会場は全国同時中継です

平成25年

8月2日(金)

10:00~17:00

地域において、認知症高齢者を早期に発見し、適切な予防、医療、介護、住まい、日常生活支援等サービスを総合的に提供する地域包括ケアシステムの構築が求められています。本研修では、認知症初期集中支援チームモデル事業対象地区のチーム員研修(第1日目)の開催と併せて、衛星による同時中継を活用し、「全国11会場」にて研修を開催します。対象は職種を問わず、認知症にかかわる多職種がどなたでも受講できます。

開催概要・お問い合わせ

共催

独立行政法人 国立長寿医療研究センター
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所
ヴェクソンインターナショナル株式会社

日時

平成25年8月2日(金)10時~17時(予定)

対象

地域包括支援センターや市区町村等自治体職員
その他、福祉・保健・医療分野の居宅・施設サービス
等に従事する多職種(医師、看護師、ケアマネージャー、
保健師等、職種は問いません)

- ①認知症初期集中支援チームモデル事業 当該モデル地区の職員(東京会場のみ)
※認知症初期集中支援チーム員研修(モデル事業対象地区)「第1日目」に相当します。
- ②上記1以外の、地域包括支援センター職員、市区町村等の職員(全国どの会場にも応募可)
- ③その他、福祉・保健・医療分野の居宅・施設サービス等に
従事する多職種(同上)

費用

無料

会場/定員

本会場:【東京】ベルサール神田	450名
【北海道】 札幌市 札幌コンベンションセンター	150名
【宮城県】 仙台市 KKRホテル仙台	130名
【石川県】 金沢市 金沢流通会館	144名
【愛知県】 名古屋市 IMY貸会議室	140名
【大阪府】 大阪市 CIVI北梅田研修センター	200名
【岡山県】 岡山市 岡山商工会議所	240名
【香川県】 高松市 高松センタービル	180名
【福岡県】 福岡市 南近代ビル	180名
【鹿児島県】 鹿児島市 ブルーウェーブイン鹿児島	160名
【沖縄県】 那覇市 那覇商工会議所	100名

【当日持参するもの】

- 「受講者番号(ID)」(FAXを当日、受付で提示してください)
- 研修テキスト(サイトよりダウンロードし当日持参ください)
- 筆記用具(マークシート解答用の鉛筆・消しゴム)
- 昼食(お弁当) ※昼休憩は50分間(予定)会場内は飲食可能です。

研修に関するお問い合わせ・お申込み先

WEBの「問合せフォーム」からお問合せください

<http://vexon-intnl.com/dasc/>

お問合せ専用メールアドレス: info@vexon-intnl.com

FAXでお申し込みの場合は専用用紙(別紙)をご利用ください。

受付後FAXにて「受講番号(ID)」をお送りします。(いずれも5営業日以内)FAX 03-5314-3337

*本事業の事務局は、ヴェクソンインターナショナル株式会社、株式会社地域・高齢社会開発研究所が共同運営し、ヴェクソンインターナショナル株式会社が大代表窓口となっています。

7月1日専用Webサイト
オープン(予定)

ヴェクソンインターナショナル株式会社
TEL 03-3305-1930
FAX 03-5314-3337

【受付】
月~金曜日/9時~17時
(祝日及び年末年始除く)
電話がつながりにくい場合は、
メールまたはFAXへお問合せください

DASCとは

DASC(Dementia Assessment Sheet in Community-based Integrated Care System)地域包括ケアシステムにおける認知症アセスメントは、認知症のスクリーニングツールとして科学的妥当性が証明されています。比較的簡単に短時間に「認知機能障害」と「生活機能障害」を評価することが可能です。また暮らしに密着したわかりやすい項目であることから、認知症のご本人やご家族、認知症専門医等との「共通言語」として活用することが可能です。

東京会場【ベルサール神田】で講義を行い、
その他全国の会場は東京からの衛星による
同時中継です。

開会のごあいさつ 【10時開始】

- 認知症施策における認知症初期集中チームの位置づけ
- 筆記試験(5択式10問)

厚生労働省

講義Ⅰ

地域包括ケアシステムにおける認知症アセスメントの考え方
わが国の認知症施策の柱となる地域包括ケアシステムの概念と認知症アセスメントの必要性や考え方について学びます。

厚生労働省国立保健医療科学院
統括研究官

筒井 孝子

講義Ⅱ

認知症初期集中支援チームとは
(1) 認知症初期集中支援サービスの概要
(2) チーム員の果たすべき役割

独立行政法人
国立長寿医療研究センター
脳機能診療部長
鷺見幸彦

【昼休憩】

講義Ⅲ-1

認知症総合アセスメントについて
(1) 認知症アセスメントの考え方
(2) 認知症に関する基礎知識と代表的な認知症疾患、その診断

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と介護予防研究チーム 研究部長
粟田 圭一

講義Ⅲ-2

認知症総合アセスメントツール(DASC)の使用方法
DASCを使ったアセスメントの実際について

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と介護予防研究チーム 研究部長
粟田 圭一

- DVD視聴による模擬アセスメント演習
- 筆記試験(5択式10問)

閉会のごあいさつ 【17時終了(予定)】

講師

厚生労働省国立保健医療科学院
統括研究官
筒井孝子

1988年筑波大学大学院を修了。厚生省国立身体障害者リハビリテーション研究所、厚生労働省国立保健医療科学院福祉サービス部福祉マネジメント室長等を経て現職。工学博士、医学博士。

独立行政法人 国立長寿医療研究センター
脳機能診療部長
鷺見幸彦

信州大学医学部大学院卒業。信州大学第三内科、名古屋大学神経内科、を経て、名古屋掖済会病院神経内科部長、国立療養所中部病院神経内科医長、2004年から長寿医療センター外来診療部長、2010年から現職。医学博士。

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と介護予防研究チーム 研究部長
粟田圭一

山形大学医学部卒業。東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野助教授、仙台市立病院精神科・認知症疾患センター科長を経て、2009年より現職。医学博士。

【東京会場】モデル事業対象地区の方は「東京会場のみ」です。ご注意ください。
〒101-0053東京都千代田区神田美土代町7住友不動産神田ビル3F

東京会場(ベルサール神田) / アクセス

都営新宿線 小川町 B6出口 徒歩 2分
東京メトロ千代田線 新御茶ノ水 B6出口 徒歩 2分
東京メトロ丸の内線 淡路町 A6出口 徒歩 3分
定員 450名(定員に達し次第締め切り)

本研修は、平成25年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)の以下の3事業のうち、「研修」に相当する部分を共同で実施するものです。

事業区分1-3	地域包括支援センター職員等のアセスメント及びインテーク相談手法のための教材開発及び普及方法の検討に関する研究事業
事業区分2-8	地域包括ケアシステムにおける認知症総合アセスメントの開発・普及と早期支援機能の実態に関する調査研究事業
事業区分2-10	認知症の早期診断、早期対応につながる初期集中支援サービスモデルの開発に関する調査研究事業(通称:認知症初期集中支援チームモデル事業)

研修に関するお問い合わせ・お申込み先

WEBの「問合せフォーム」からお問合せください

<http://vexon-intnl.com/dasc/>

お問合せ専用メールアドレス: info@vexon-intnl.com

FAXでお申し込みの場合は専用紙(別紙)をご利用ください

7月1日専用Webサイト
オープン(予定)

ヴェクソンインターナショナル株式会社
TEL 03-3305-1930
FAX 03-5314-3337

【受付】
月～金曜日/9時～17時
(祝日及び年末年始除く)
電話がつながりにくい場合は、
メールまたはFAXへお問合せください